

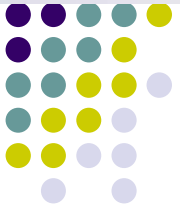
2007年12月1日

# 東アジア経済統合の現状

西村英俊

日本貿易振興機構 参与

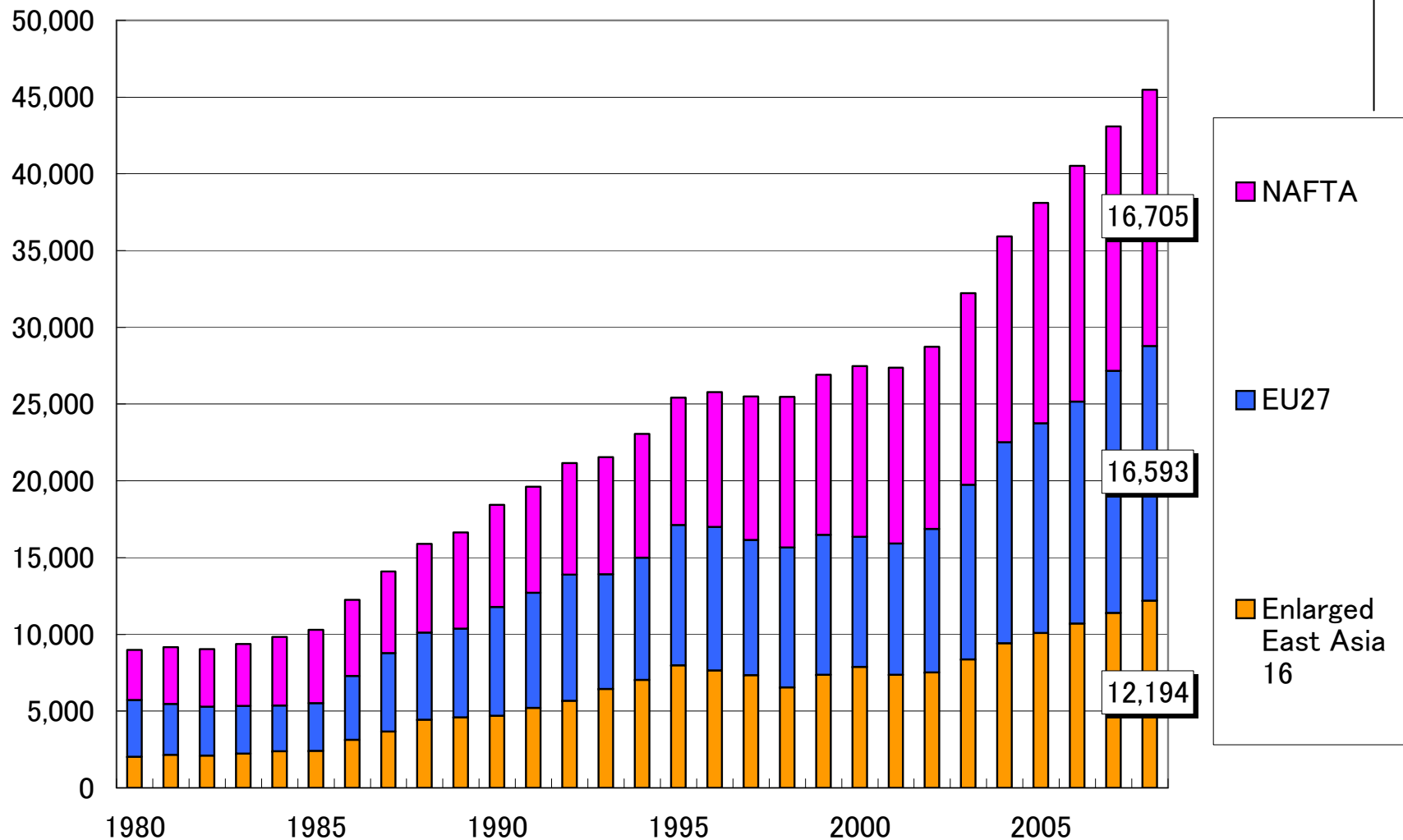
hidetoshi\_nishimura@ide.go.jp



# 世界経済の現状と流れ

- 世界経済はEU, NAFTAの発展の恩恵を東アジアが吸収することにより、ここ30年均衡ある発展を遂げてきた。
- 拡大EU(今春、27か国に拡大)に、世界から投資が集まるという恩恵を受けている。このことは、Euroの上昇の原因。
- 米国は、サブプライムローンの処理の問題により、不確実性を増大し、米ドル低下の原因となっている。
- しかし昨今のエネルギー価格の上昇、地球環境問題の深刻化、地域紛争の継続など不安定化要因が増大する中、東アジアは自助努力促されている。
  
- ドーハラウンド交渉の遅れにより、FTAがアジアでも増殖している。
- スパゲッティ・ボウル問題がアジアで起きつつあり、それが回避すべき大きな問題か、検討する必要に迫られている。回避となれば、地域をあげての取り組みが必要。

# 地域別 GDP (10億ドル)



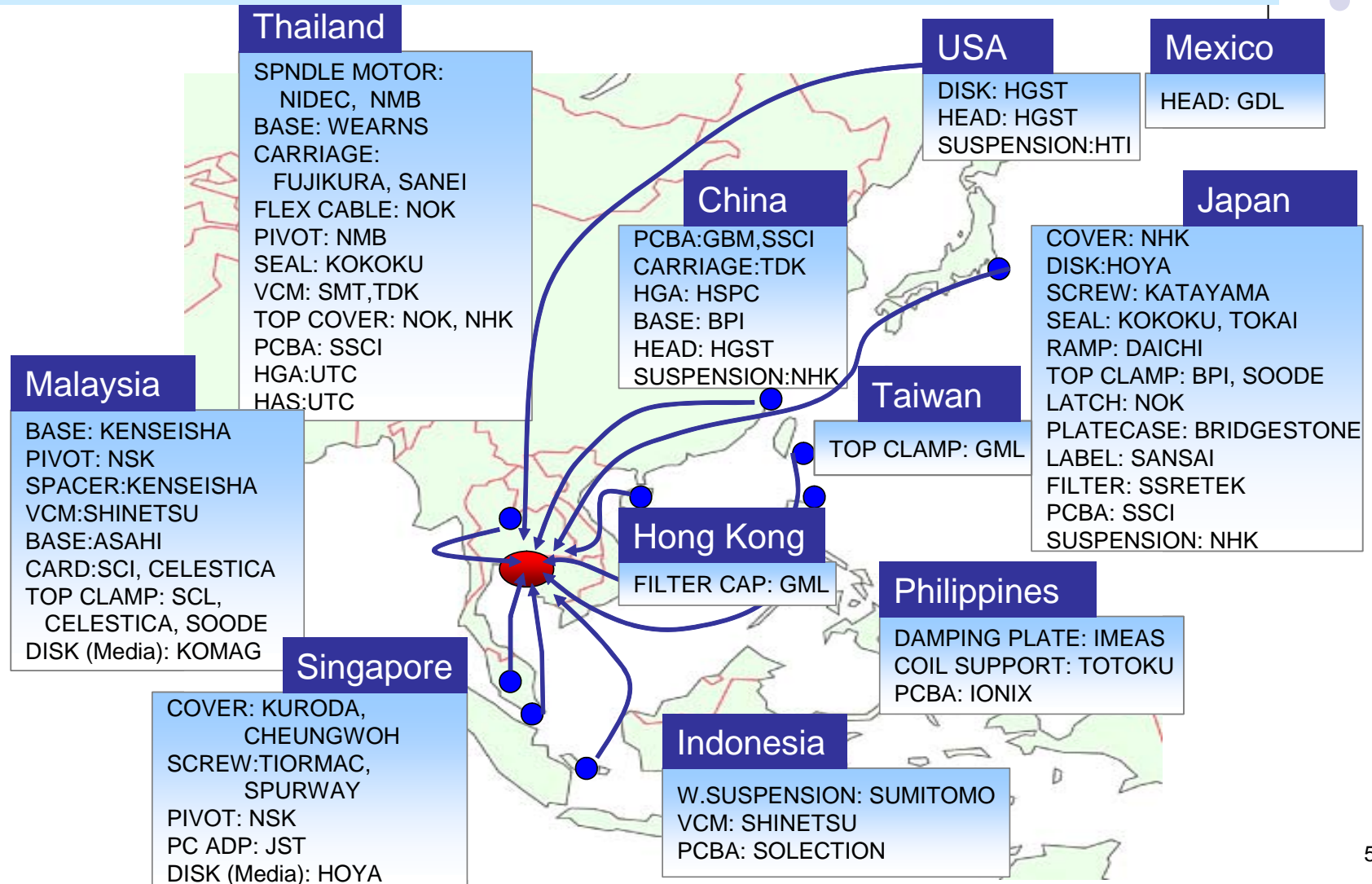
Note: EAS 16 includes ASEAN10 (Brunei, Cambodia, Indonesia, Laos, Myanmar, Malaysia, the Philippines, Singapore, Thailand, and Vietnam), plus three (China, Japan, and Korea), and plus three (Australia, India and New Zealand).

Source: International Monetary Fund (IMF), *World Economic Outlook Database*, April 2007.





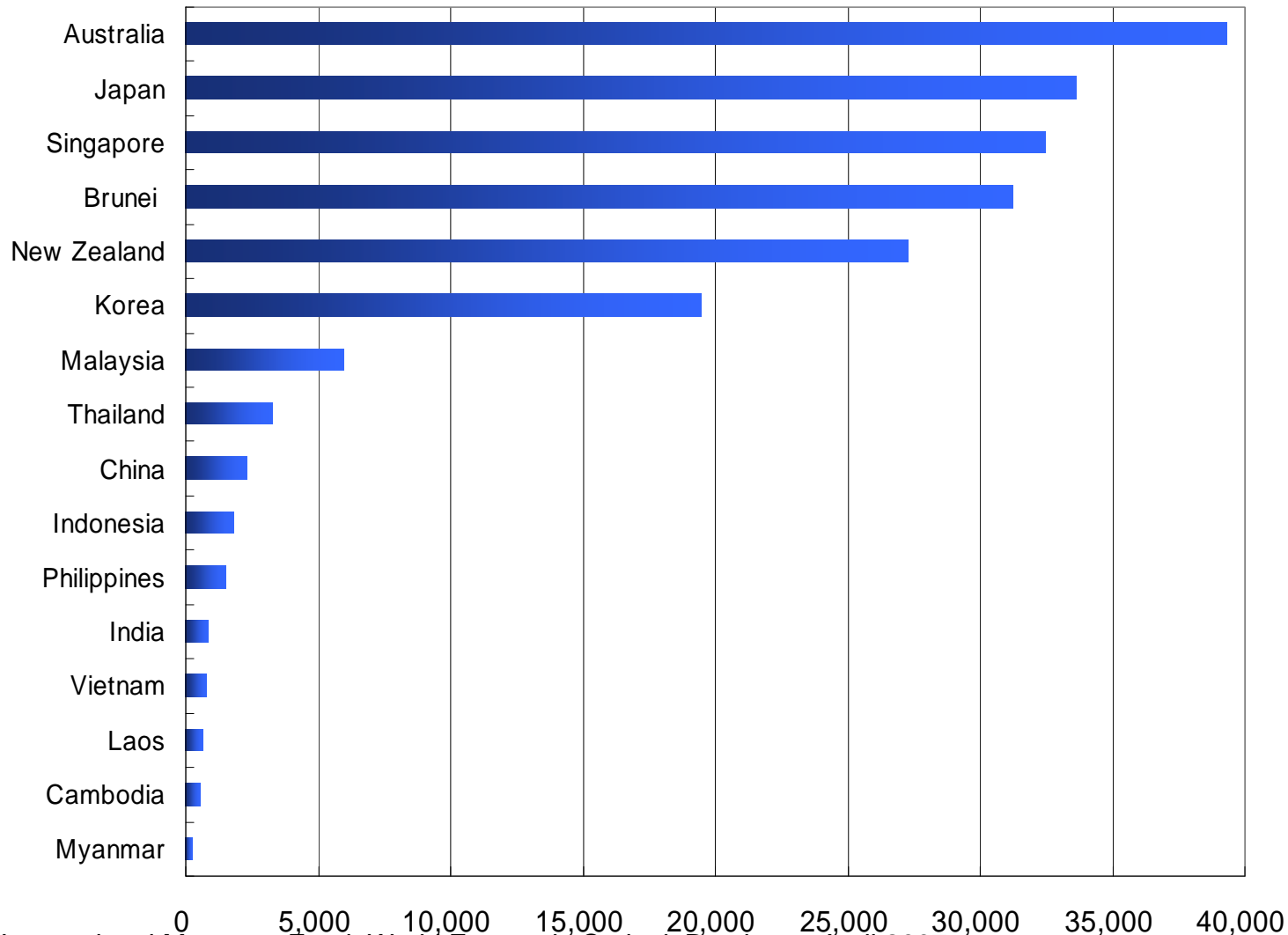
Many countries have joined the league. Production fragmentation & networks which is characteristics of E-A, has developed most in East Asia.



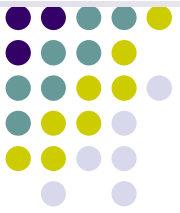
# Nevertheless, there are great disparities



**GDP per capita by country in East Asia (2006, US dollars)**



Source: International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, April 2007.



## 東アジア経済統合の課題

- 1)生産、サービスのネットワークの強化、2)格差是正が東アジアの経済統合の課題。
- フラグメンテーション理論によれば、格差が大きいほどフラグメンテーションが進む。
- 東アジアの経験では、混雑効果が働き、都市が次々と工業化されてきた。
- 適切な政策が採用されれば、混雑効果により、工程間分業が進み、所得水準の低い国にも一部の工程が移転する。
- その鍵を握るのが、サービスリンクコスト(拠点間を結ぶサービスコスト)と新たな拠点を作るネットワークセットアップコスト。
- これには、時間も含まれる。

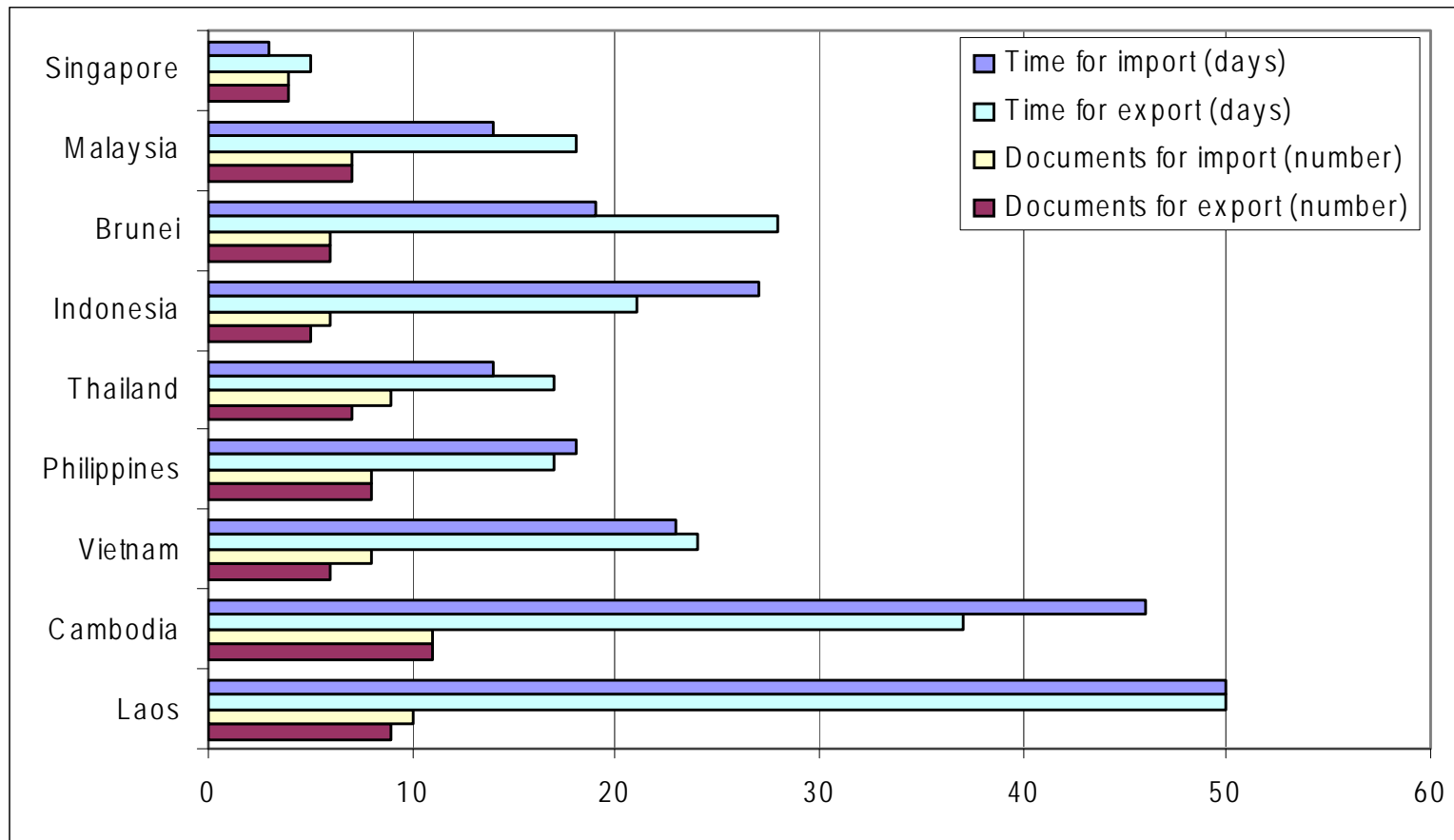


## サービスリンクコスト

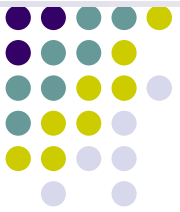
- Anderson and Wincoop (2004)  
170 (2.7=1.21\*1.44\*1.55) %.
  - 21 %: 輸送費
  - 44 %: 国境障壁
    - 8%: 関税
    - 36% その他国境障壁
  - 55 %: 卸売・小売
- サービスリンクコストは、関税引き下げだけでは不十分

# アジアの高いサービスリンク・コスト

## 輸出入手続き時間と必要書類

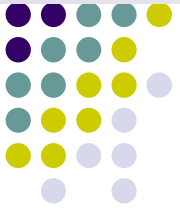


Source: duplicated from Brent Layton (2007), ERIA project number 1 meeting on 24-25, originally from <http://www.doingbusiness.org/>



## 東アジアは呉越同舟

- 生産、サービスのネットワークを強化
- 格差を是正
- エネルギー確保と環境維持
- FTAの増殖によるスパゲッティ・ボール問題の影響を調査し、小国、中小企業も恩恵を受ける貿易・投資体制の構築が必要。
- フラジイルな、デジュールなネットワークを補強するための自助努力が必要。



# 日ASEAN首脳会議の成果 (11月21日・シンガポール)

- 「日ASEAN賢人会議」を早急にスタートさせ、将来の日ASEAN関係の方向性等の提言を来年の首脳会議に報告させたい。
- 日本アセアンセンターの機能強化のため、同センターの設立協定改正の早期発効に向け協力を得たい。
- ASEANの域内格差是正を目的とするメコン地域開発支援を継続。
- 日ASEAN包括的経済連携(AJCEP)協定の交渉の妥結を歓迎。早期発効に向けてASEAN各国の協力を期待。
- 東アジア包括的経済連携構想の研究を促進。東アジア・ASEAN経済研究センターが正式に設立に合意されたことを歓迎。